第24号
2017/05

PVかながわ ニュースレター

活動報告

家庭用電力小売り自由化時代のオーナーの努め！ O&M活動の第一歩（湘南地域）

家庭用電力小売り自由化後の湘南地域の取り組み

電力自由化時代に入り、若干の経済性メリットは得られる状況ですが、我々オーナーの期待する選択肢はまだ見受けられないように思います。将来、再生可能エネルギーの普及のために我々の売電を活用するような電力事業者が現れた時、適切に運用(Operation)し、維持(Maintenance)されている発電所が必要になります。また、このO&Mは、H29年度から大きく変わるFIT制度において新規設備では義務化となる情報もあり、既設のオーナーも意識すべきと考え、その第一歩として、PV-Netでも長年行われてきた近隣単位発電量の比較を近隣オーナーに推奨する活動を湘南地域で2年にわたり推進してきました。H28年分のグラフを示します。

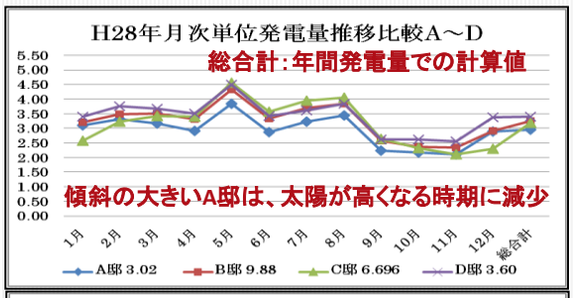
さまざまな設置条件のシステムでも比較可能

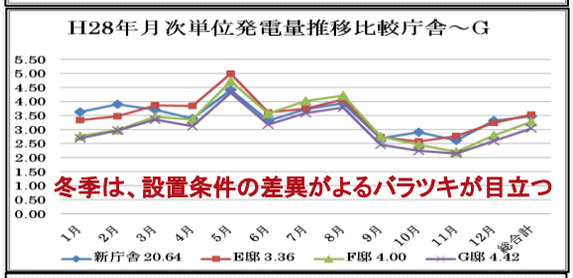
- モジュール設置の差異：方位（数）差、傾斜角差
- メーカー材料差異：単結晶、多結晶、HIT、CIS等
- 使用期間：2年～10年以上

単位発電量月次で描くと設置条件の差異により異なる推移を示しますが、長期データの相対比較や設置条件を考慮し分析すればO&Mとして有効です。

近隣オーナー達とのO&M活動から次のステップへ！

今後は、HEMSにより時間単位で消費状況が見えるようになってゆくので、省エネ、蓄電も考え易くなります。発電量の把握と組み合わせれば、年間のエネルギー消費をゼロ以下とするZEH(net Zero Energy House)行動の目標も計画できるでしょう。発電量記録や近隣比較が容易なPV-Netへの入会をお勧めしています。





A邸：シャープ製、単結晶、160/29°、10年以上動作
B邸：シャープ製、単結晶、180/22°、約5年動作
C邸：京セラ製、多結晶、180/10°、約5年動作
D邸：三菱製、多結晶、164/22°、4年動作
E邸：ソーラフロンティア製、CIS、164/22°、3年動作
F邸：パナソニック製、HIT、180/22°、約10年動作
G邸；京セラ製、多結晶、3方位/27°、約3年動作
H新庁舎：京セラ製、多結晶、180/30°、2年動作
（数値は、設置方位(北向き0°時計回り)/傾斜角）

（岡野記）

世話人から

連絡事項

1）PV-Net 2017年度総会
2017年7月30日（土）
会場：未定
議事内容：
- 2016年度の振り返り
- 新年度の事業計画
- 会計決算書報告、新年度予算案の審議等
- 理事役員の改選

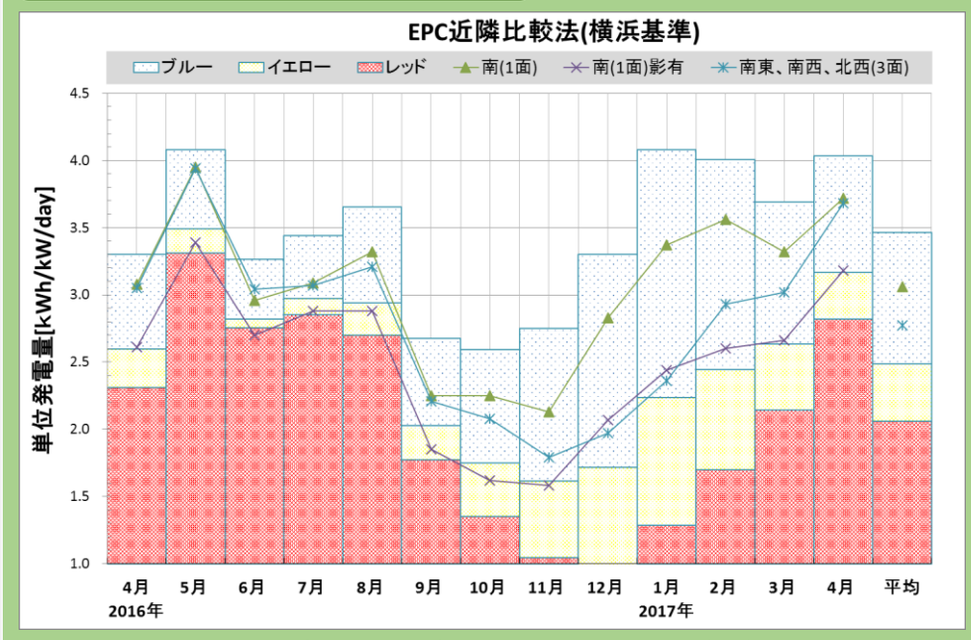
2）今後の予定

2017年6月2日(金)、3日(土)
「横浜開港祭2017」
会場：臨港パーク
時間：10:00～17:00

2017年7月15日（土）
ワークショップ第21回
「出前発電所をつくろう！」
会場：「かるがも」(星川駅)
時間：13:00～16:00
参加者募集中

2017年8月11日（金・祝）
「図書館講座(仮称)」
会場：横浜市瀬谷図書館
時間：10:00～11:35

今月の単位発電量！



横浜の日照時間は昨年4月と比べ約40%増と多い月になりました。気象庁によると「日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。北・東日本太平洋側、西日本では高気圧に覆われやすく月間日照時間が多かったが、南から湿った空気が流れ込みやすかった西日本で降水量が多くなった。中旬には低気圧が発達しながら通過し、本州付近で暴風や大雨となった所があった。北・西日本では南から暖かい空気が流れ込みやすかった影響で月平均気温が高かったが、低気圧の通過後に一時的に北からの寒気が入るなど、全国的に気温の変動が大きかった。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドになる場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。